

# 2023 年度 初級登山教室

2023 年 10 月 14 日(土)~15 日(日) 初級登山教室テント泊 鈴鹿イブネ・クラシ御在所岳

講 師 T 内講師 N 森講師

受 講 生 S 藤 Y 元 R(記録) Y 元 A

## 通過タイム

14 日・武平峠(877m)駐車場集合 9:00-駐車場発 9:25-武平峠 9:30-沢谷峠 10:50-七人山のコ 13:10-東雨岳(1225m)14:00-雨乞岳(1238 m)14:18-杉峠(1042m)15:08-佐目峠 15:25-幕営(テント泊)

※雨乞岳東まで笹藪あり、沢谷峠まではアップダウンが多く、渡渉箇所も数回あり。道も荒れていた。

※雨乞岳までは笹道で傾斜が強く視界が悪く、雨乞岳から杉峠へ向かうルートでは進行方向を間違え、50mほど進む(北西の尾根に向かった)が、講師のアドバイスで正ルートに戻る。

※雨天のためイブネでの幕営中止し佐目峠で幕営。

15 日・佐目峠 7:30-杉峠 7:40-国見峠 11:40-国見岳(1170 m)12:00-休憩 40 分-国見峠 12:50-※御在所岳(1212 m)(間違っ別ルで山上公園へ 13:20 着)-御在所岳(1212 m)13:40-長者池-武平峠 14:40-武平峠駐車場着 15:00

※御在所岳~武平峠までの下りの岩場は急斜面で風も強く緊張を強いられる厳しい下りだった。

## 一口感想

### T 内講師

テント泊は共同装備の分担と併せて自身の体力に見合った装備となります。計画書以外の装備を持参する場合は行程(所要時間・歩行距離・高低差等)に見合った担げる重さの判断が重要です。パーティがスムーズに行動できるよう各自が装備の軽量化を図ってください。また、リーダーの役割は先頭を歩くことだけではありません。決められたルートを歩いてパーティを導くことが求められます。こう言う私もルートを間違えることがよくありますが、今回は少なくとも3回はルート間違いがありました。

1. 『初日の雨乞岳から杉峠への下り』北へ下るところを北西の尾根に向かった。

※雨乞岳山頂から杉峠へはほぼ直角に方向を変えるので北西に続く尾根を歩くとすぐにおかしいと気づくはずです。

2. 『コクイ谷出合手前の渡渉』出合の手前でルートが不明瞭になり、対岸へ渡ろうとした。

※対岸が歩きやすそうでルートが判りづらいからですが地図では御池谷の右岸を離れることが無いので渡渉はありえないことが判ります。

3. 『国見峠から御在所岳山頂』国見峠からケーブル山頂駅のルートを選択。本人は御在所岳への直行ルートを選んだと思っていた。

※まず、方向が約 90 度違います。地図を見るとルートは国見峠からほんの少し上水晶谷を下って南へ向かいます。次に歩いたルートは尾根の東側三重県側が見渡せます。最後にスキー場手前

の施設に着いています。これら3点にひとつでも気が付けば間違いに気づくはずですが、以上、地図読みの間違ひはありますがなるべく早く気づいて元のルートに戻ることが肝心です。そうでないと全く別の所へ下山することになりかねません。以上長々と書きましたが参加されなかった皆さんもN森さんの計画書に添付された地図を見て確認いただきたいと思います。

### N森講師

時間が押したこと、雨の心配があったことからイブネ方面まで行けず、佐目峠でのテント泊となりましたが、充実した2日間となりました。リーダーの役割は、パーティの安全を確保することです。そのためには、常にメンバーの歩行位置を把握しておくこと、メンバーの体調に気を配り、歩行ペースや休憩のタイミングをコントロールすること、注意箇所や分岐など先の状況をメンバーに伝え、全員が方針を共有して進めるようにすることなど、多くの仕事をこなさなければなりません。また、メンバーの方でもリーダーの判断に役立つ情報や意見を積極的に提供し、リーダーが判断を下したのちは私見を挟まずリーダーの指示に従い、協力することが必要です。

山行全般としては、どのメンバーも地形図を読んでルート全体を頭に入れ、常にコンパスで方角をモニターしながら歩くこと、渡渉箇所は増水などですぐに状況が変わるので、付近をよく観察して一番安全に渡れるポイントを見定めることは重要かと思います。安全は登山を楽しむ上での大前提です。それは計画の段階で始まっています。ソロでもパーティでも、どうすればリスクを最小化できるかを考えながら山行に臨んでいただければと思います。

### S藤

鈴鹿縦走は、受講生が交代しながらリーダーになり、今どこを歩いているのか、こまめに地図を見ながら歩き、読図の勉強がみっちりできました。

またリーダーの役割なども懇々と指導して頂きました。

今回、何が良くて、何が良くなかったかをしっかり整理して、自分の課題と対策を考える良い機会にし、より安定した登山を目指していきたいと思います。

### Y元R

鈴鹿縦走は、面白いルートでしたが、こまめに地図で現在地を確認し、正しい進行方向を頭に入れて歩かないと迷いやすく、一筋縄ではいかないルートだと思いました。

地図と目の前に広がる景色を照らし合わせること数回、読図の面白さと難しさを実感した2日間でした。

リーダーを務めたとき、パーティの安全確保の徹底ができておらず、自分のペースで歩いてしまい適度な距離を保てなかったことが反省です。

講師の方から沢山のご指導をいただきありがとうございました。

### Y元A

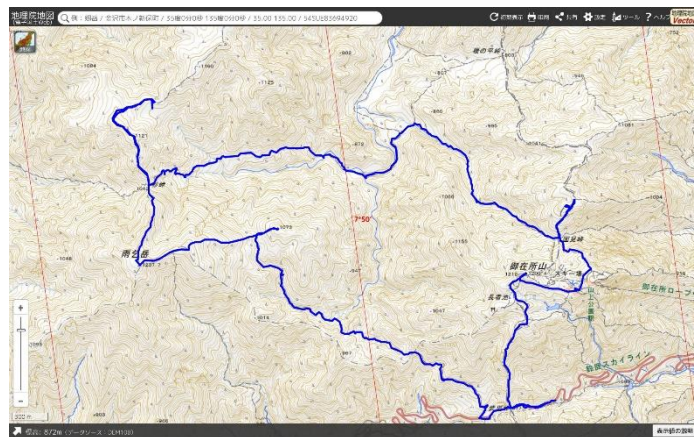
鈴鹿縦走では、受講生が交代しながらリーダーを務めることになり、パーティの安全を預かるその重圧で終始緊張しました。

ルートミスをしないうにとそればかりに気を取られ、後ろや周りの景色を見る余裕がなく目の前の道にしか意識を向けられなかったことが反省です。

小雨の降るなか、鈴鹿山系の瑞々しい山と近くに迫る山々に癒やされ、理解は不十分ではありますが、地図でコースを読む難しさとともに面白さも感じることができ、ドキドキ、ワクワクの2日間でした。

リーダーの役割や身につけるべき術についてたくさんご指導頂きました。

これからも安全で楽しい登山を目指していきたいと思います。



県連HP「初級登山教室」に他にも写真をアップしています。